只見町ブナセンター
TEL 0241(72)8355

（写真・文　太田祥作）

カワヤツメ（学名：*Lethenteron camtschaticum*）

【ヤツメウナギ目ヤツメウナギ科】

▲ 成体（１１月，荒島の用水路にて採集）

▲ 水路を泳ぐアンモシーテス幼生（６月）

ヤツメウナギはたいへん原始的な脊椎動物で、名前にはウナギとありますが、ウナギどころか魚類でもありません。この仲間は顎を持たないことから「無顎類」と呼ばれます。約５億年前の古生代カンブリア紀に現れ、太古の海で繁栄しましたが、今ではその仲間の殆どが絶滅しています。

一対の眼の後ろに七対の鰓孔があり、「目が八つあるように見える」のが「ヤツメウナギ」の由来です。成長過程で変態することでも知られており、最初は眼すらない「アンモシーテス幼生」として誕生し、変態すると眼をもった成体となります。野外で見られるヤツメウナギのほとんどはアンモシーテス幼生で、成体は滅多に見られません。

▲ 成体の口。
吸盤状で顎はない

今回取り上げるカワヤツメも、只見町に生息する風変わりなヤツメウナギの一種です。カワヤツメは一般的には回遊性であり、川で生まれ変態した成体は海に降り、数年かけて成長したのち、川に戻ってきて産卵します。ところが、只見町には海に降ることなく川で一生を終える「河川型」と呼ばれるタイプが生息しています。これは全国的にも珍しく、福島県のレッドリストでは「絶滅のおそれのある地域個体群『阿賀野川水系のカワヤツメ河川型』」に位置付けられています。町内では伊南川本流や布沢川などで確認されており、堀払いの際に見たという話も聞かれます。また、かつては食卓にも上っており、脂が多く美味しかったそうです。

只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。詳細は只見町ブナセンター（電話０２４１－７２－８３５５）までお問い合わせください。

企画展「誕生から１０年。
只見ユネスコエコパークのここまでを振り返り、これからを考える」

会期：２０２４年４月２７日(土)～１１月４日(月･祝)
場所：ただみ・ブナと川のミュージアム　２階ギャラリー

※この広報紙は再生紙を使用しています
VEGETABLE OIL INK
※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

■ 発行／只見町　〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591-30
■ 編集／総務企画課総務係　https://www.town.tadami.lg.jp/　☎ 0241(82)5210